

のろいからの解放 パート1

これからお話しする「のろいからの解放」というテーマは2部に分かれており、この5年の間に神が私に教えてくださった多くの真理を含んでいます。私自身の人生、また、私とその真理に仕える特権によって関わってきた数多くの人々の人生に変革をもたらした真理です。私が奉仕してきたいくつかの地域で、メッセージの最後にその真理を通して神が与えてくださるものを用いたいですかと人々に質問すると、ほぼ95%の人が用いたいと応答し、そして、人々が実に劇的に変えられるのを私は見てきました。

今から数年前、中央アフリカのザンビアで語っていた時のことです。私はこのテーマで教えていたとき、最後に身なりも立派な教養のある一人のアフリカ人男性が私のところにやって来ました。彼は私の足元に身をかがめました。もし、私が止めなければ、私の足にキスをするところでした。おそらく40歳ぐらいのその男性は立ち上がり、言いました。「私は生まれてからずっと苦しみ、みじめでした。一日たりとも幸せな日はありませんでした。」しかし、彼はこう言いました。「私があなたとあの祈りをして以来、私の内ですべてが変わりました。私は苦しみから解放され、別人になったのです。」

そう、これが力あるメッセージです。そのメッセージの土台となっているガラテヤ3:13-14を開いてみましょう。

「キリストは、私たちのためにのろわれたものとなって、私たちを律法ののろいから贖い出してくださいました。なぜなら、『木にかけられる者はすべてののろわれたものである』と書いてあるからです。このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」

この聖句は、イエスが十字架にかけられたときに行われた交換を啓示しています。旧約聖書の申命記で、木にかけられる者はのろわれた者であると言われています。ですから、イエスが十字架という木にかけられたとき、イエスはのろいとなられたのです。そこでなされたことは、この聖書箇所でも明確に書かれている神が定められた交換でした。私たちが呪いからあがなわれ、神がご自身の民のために用意しておられる祝福の中へ入るようにと、イエスはすべてののろいをその身に受けられました。つまり、非常に単純で具体的な交換です。イエスは私たちが祝福を受けるようにと、のろいとなられたのです。

今からみなさんに、のろいの性質と祝福の性質を説明します。これらは聖書の2つの主要なテーマです。聖書には、祝福という単語は、様々な言い方で600回出てきます。そして、のろいという単語は、おそらくその半分くらい出てきます。しかし、私が経験から学んだことは、ほとんどの神の民、つまりクリスチャンは、呪いと祝福の性質をあまりよく知らないということです。私たちがキリストの贖いを通して呪いから解放され、祝福を楽しむことが神の目的であると私は信じます。しかし、私は世界のどこに行っても、祝福を楽しむべきであるときに、呪いに耐えている神の民の多さに気づきました。第一の理由は、何が呪いで、何が祝福であるかを識別する方法を知らないからです。

2つ目の理由は、彼らがそれを認識していても、どのように呪いから解放され、祝福の中へ入るかを知らないからかもしれません。ですから、祝福とのろいの簡単な定義をみなさんに提供することから始めましょう。祝福とのろいは

どちらも超自然的な力です。私たちが人知の範囲のものを取り扱っているのではないことを理解することが重要です。それは人知を超えたものです。それが祝福であるなら、良いものための超自然的な力、またそれが呪いであるなら、悪のための超自然的な力です。そして、それらの一つの特徴は、かなりの確率で世代から世代へと継続します。それが呪いであるなら、誰かがその断ち切り方を知るまで、続くことが多いです。その結果、多くの人々が、また今日これを聞いている人の中にも、何世代も前に起こったであろうことの影響を、あなたの人生で耐えている人がいます。あなたは、その問題の原因を突き止め、解放されるために適切な処置をしなければなりません。

さて、祝福とのろい的手段は、通常ことばによります。語られたことば、書かれたことば、あるいは単に心の中で語られた言葉であるかもしれません。しかし、呪いも祝福も、物や人によって転送、あるいは伝わることもありえます。ですから、それは単に言葉の問題であるとは限りません。一つの単純な例を挙げましょう。クリスチャンとして行う聖餐式において、パウロは、「私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。」と言っています。ぶどうジュースの入った杯を通して、神は祝福を私たちに移してくださいました。

旧約聖書には、物によって伝えられたのろいの様々な例があります。しかし、特にモーセの律法の下では、女性が自分の夫に不貞を働いたと訴えられたときは、特定のテストがありました。祭司がその妻を幕屋に連れて行き、呪いの言葉を書いたあと、水を入れた杯に入れ、その呪いの言葉を書いたインクを洗い流しました。そして、その妻はその水を飲み、自分の呪いを宣言します。彼女が無実であれば、彼女には何も起こりません。その夫は、二度と妻を訴える自由はありません。しかし、もしその妻が有罪であるなら、彼女の体には悲惨な身体的影響が起こるのです。今、私は、単に何かによって移される呪いの一例としての物体を挙げました。その場合、コップ一杯の水です。

私は、個人的な経験によってその真理にたどり着きました。私は単に抽象的な理論のようなものをメッセージすることはほとんどありません。私が教えてきたほとんどすべては、自分の人生に起こったことに結びつける方法で教えてきました。これは、特にこのメッセージにおいてまさしく当てはまります。徐々に私に警告を与えた3つの個人的な出来事をみなさんにお話したいと思います。それは一瞬で起こったのではなく、真理をひも解く段階的なプロセスでした。神は、それらのことに私の目を開くために、特定の経験をさせ、特定のケースを取り扱わせることによって私を教育したのだと思います。

1960年代の終わり、私が最初の妻とフロリダに住んでいたとき、私は母方の祖父から様々な中国の芸術文化作品を相続しました。イギリス軍の士官であった祖父は、イギリス政府が義和団の乱を鎮圧するために1904年に中国に派遣した遠征軍の指揮官でした。そして、祖父は中国で手に入れた様々な品を持って帰国しました。やがて私の母を通して、それらのいくつかが私への形見として手渡されました。

その形見の中に、4匹の刺繍された見事な竜のタペストリーがあり、一匹ずつ別の素材でできていました。実に美しい色でした。中国文化を少しかじっている人によると、その竜には5つの爪があるので、皇帝龍であるということでした。普通の竜は爪が4つですが、皇帝龍には5つあるのです。私はおじいちゃん子だったので、そのタペストリーは私にとって大きな意味を持っていました。私たちはフロリダの家に住み始め、リビングルームにその4匹の竜のタペストリーを飾りました。しかし、しばらくすると、聖霊が私を悩ませ始めました。あなたは聖霊に悩まされたことがありますか。そのようなとき、私たちが最初にすることは何でしょうか。それを無視し、「そんな馬鹿な、聖霊がそんなことするはずがな

い。」と言います。しかし、とにかく、聖霊が私に言うのです。「聖書では竜は何を意味しているか？」私はそれを答えるには十分なほど聖書知識がありました。竜は黙示録 12:9 などではっきりとサタンを意味しています。そして聖霊は、私に言いました。「サタンを宣伝するようなものをリビングルームの壁に掛けておくのは、キリストのしもべとしてふさわしいことなのか？」私はしばらくそれについて悩み、言いました。「神さま、わかりました。あなたの勝ちです。私は竜を取り除きます。」そして、そのタペストリーを外しました。

私はそのことを、神に従うという以外の動機では行ないませんでした。しかし、結果は、かなり注目に値するものでした。その時まで、私は経済的にギリギリの状態でした。私は巡回して説教をし、謝礼をもらっていました。その謝礼は、私たちの必要はカバーできましたが、まったく残りませんでした。また家族にも、ある奇妙なことが起こっていました。私は妻とうまくコミュニケーションが取れないと気づいていました。また、私は両親から相当な金額の遺産を相続する権利がありましたが、他の人々による様々な無責任な行為のゆえに、相続は長々と停滞しました。さて、私はその竜を取り除いただけでしたが、私の繁栄の全レベルが変えられたことに私は気づき始めました。私は何も変えることなく、同じ生活を続けていたにもかかわらず、次の年には収入が倍になったのです。

そして、相続の問題が解放され、私は遺産を受け取りました。妻と私は私たちにとって信仰の大きなステップであった家を購入することができましたが、その家を購入するように神に明確に導かれたと私たちは感じました。

私は今、ただ繁栄について語っているのではなく、それは慎重に条件付けされなければならないと思います。しかし、目的を伴った繁栄です。私たちは導かれた家に引っ越し、9年間住み、その家は買った金額の3倍の値段で売れました。そのお金で、現在の妻と私は、エルサレムに非常に高額な家を建てることができました。神は家を売却することで経済を備えてくださいました。それは私たちが計画したことはありませんでした。私には、まったく意識的な意図もありませんでしたが、暗闇の悪の力がその竜を通して私の家に侵入していたとわかりました。そして、その力が吐き出され、取り扱われるまで、私の人生とミニストリーのための神のご計画の豊かさの中を進み続けることはできなかったのです。

興味深いことは、神が私を守ってくださっていることすら、私は知らなかったということです。私は、これが多くの人々の人生において当てはまることを見てきました。人々が呪いを取り扱うとき、彼らは呪いから解放されるということがどういうものであるかを知りません。彼らはそれを思い描くことができないのです。

その後、しばらくして、私はアメリカ中西部の長老派教会でメッセージの奉仕をしていました。私はメッセージを終え、講壇の後ろに立っていました。私は次に何をするつもりかまだ決めておらず、左側に座っている、両親と10代の娘の家族を見ました。彼らを見たとき、呪いとその家族の上にあると聖霊が語っていると感じました。私はそれまで呪いについて説教したこともなく、そのことについて考えてもおらず、どうしてよいのかもまったくわかりませんでした。ですから、私がただ待ちのぞんでいて、もう一度、非常にはっきりと、「呪いとその家族の上にある。」と語られました。そこで、私はその父親に近寄り、言いました。「ご主人、私は、呪いがあるあなたの家族の上にあると神が示していると思うのです。私にイエスの御名によってその呪いから解放させてくださいませんか。」私には解放のミニストリーの経験がまったくなく、ただ信仰によって踏み出しました。彼は即座に、「はい」と答えました。あまりにも多くの災難が彼の人生と家族の人生に起こり、彼は呪いがあることを受け入れていたことを、のちに彼から聞きました。そして、私はその家族を呪い

から解放する短いシンプルな祈りを大声で祈りました。私が、「イエスの御名によって」と言ったとき、私は誰にも触れていないにもかかわらず、家族の一人一人に目に見える身体的な反応がありました。それで、私が一步下がると、その10代の娘が片方の太ももの付け根からかかとまでギプスをしているのに気付きました。そこで私は言いました。「あなたの娘さんの足の癒しのために祈ってもいいですか。」彼は即座に「はい」と答えましたが、こう言いました。「娘は18か月の間に3回も同じ足を骨折し、医者は治らないと言っていることを知っておいてください。」さて、もし私が今、誰かが18か月の間に3回も同じ足を骨折していると聞いたら、呪いが作用していると、疑うことはありえませんが、当時それは私にとって新しいことでした。私は言いました。「私にできることはただ、私とその足を持ち、単純な祈りをするだけです。」そして、私はそのようにしました。

数週間後、私はその男性から感謝の手紙を受け取り、特に彼らが娘と医者に言って、レントゲンを撮ったら、癒されていたというものでした。そして、間もなくギプスは外されたのです。

しかし、それについてよく考えていると、このようなことに気づきました - 神が私に、あの家族に示してくださった呪いが、娘の足の癒しの障壁となっており、その障壁が取り除かれるまで、彼女の足の癒しの祈りは、効果がなかった。そして、このことは、家族や個人の上にある呪いが、その人のために神が意図されている祝福から遠ざける、目に見えない妨げの壁となりうるということ、私がこれまで何百回も見えてきたことの原則です。竜による私のケースは、経済的繁栄の祝福と神のみこころの解放でした。この少女のケースでは、骨折した彼女の足のいやしでしたが、呪いが壁となっていました。

その後、私はこのことについて教え始め、『呪い：原因と解放』という3つのメッセージ・シリーズを収めたテープも作りました。そして、これらが広まり始めると、単に個人個人だけではなく、全会衆に起こっている素晴らしいあかしを聞くようになりました。その三本セットのテープの一つは、南アフリカへも届いていました。そして少し後に、妻と私が南アフリカのケープタウンで奉仕していたとき、主イエスをメシヤ、救い主であると受け入れたユダヤ人女性に出会いました。仮にミリアムと呼びましょう。ミリアムは私たちに直接このような話をしました。ミリアムは非常に有能な社長秘書で、かなりの高給を得ていました。しばらくして、ミリアムは、社長と会社の管理職全員が、ある女性教祖の奇妙なカルトに入っているとわかりました。ある日、社長がミリアムに、その女性教祖が管理職たちに言った祝福の言葉をタイプ打ちするように頼みました。ミリアムがそれをタイプし始めたとき、それらの言葉はクリスチャンが考える祝福とはかけ離れていると気づき、ミリアムは社長のところへ行行って言いました。「すみません、私はこれらの祝福の言葉をタイプするのを遠慮したいのですが。」社長は寛大な方で、こう言いました。「すまなかった。これがあなたの良心に反するものだとわかっていたら、その仕事を頼まなかったのに。」それが最後でした。

さて、私たちは推論によって話の埋め合わせをしなければなりません。しかし、その女性教祖は自分の祝福をミリアムがタイプしなかったことを聞いたことは確かでしょう。その教祖は何をしたのでしょうか。おそらく、祈ったか、呪いを口にしたでしょう。どちらであるかはあまり重要ではありません。数週間以内に、ミリアムの指は固くなり、丸まったままになり、あっという間に、その指はひどく痛み出し、曲げることができなくなりました。ミリアムは、あなたにはその痛みはわからないでしょうと言いました。夫が寝返りを打つたびにベッドが揺れ、指の痛みには耐えられないので、別々に寝なければなりません。彼女は、専門家のところでレントゲンを撮ると、慢性関節リウマチであると言われました。ある意味、彼女は障がい者となってしまいました。

別のカリスマ派の女性が、私のその 3 つのテープシリーズを受け取り、ミアムがそれを聞くべきだと感じました。ミアムはどちらかというと、洗練された女性であったので、あまり乗り気ではなく、彼女の目には、呪いとは何か遠い中世の時代のように映っていたと私は思います。とにかく、その女性が説得したので、彼女たちは座ってその 3 つのテープを聞きました。3 つ目のテープの終わりに、私は人々の人生の上にある呪いから人々を解放する祈りを導いています。その祈りが始まったとたん、テープが動かなくなりました、前にも後ろにもテープは回らず、カセットテープを取り出すこともできませんでした。それはまったく不自然です。そこで、ミアムが言いました。「じゃあ、私は祈ることはできませんね。」その根気強い女性は言いました。「あらまあ、私はその祈りをタイプで打ってあるので、取ってきますね。」彼女は自分の判断に逆らうというよりは、むしろその祈りを読むためにミアムを説得しました。その祈りは 3 分で読めます。そこで、ミアムはただ義務的にその祈りを読み、読み始めから終わりまでの間に、彼女の指は完全に解放されました。関節炎の後はまったくありませんでした。彼女は医者に行き、医者は医学的に癒されたと太鼓判を押しました。

私が強調したいのは、これです。彼女は癒しのために祈りをしませんでした。それは彼女の思いの中にありませんでした。彼女はただ、呪いから解放されたのです。しかし、呪いが打ち砕かれたとき、病気の原因は他にはなかったのです。もう一つの目に見えない障壁の例です。

さて、祝福と呪いがとる形を聖書から引き出したいと思います。祝福とのろいだけを扱っている一章が旧約聖書にあります。ご存知の方はいますか。そう、申命記 28 章です。それは、祝福が 14 節あり、のろいは 55 節あります。時間がないので、読みませんが、もしあなたが何か気になることがあるなら、時間を取って注意深くその章を学んでください。私もそれを何度も読んで学び、みなさんにその要約を分かち合いたいと思います。しかし、私の言っていることが正確かどうかは、あなた自身で判断してください。

これが、主な祝福と主なのろいの私の要約です。実に、祝福と呪いは正反対のものです。ここに 7 つの祝福があります。1 つ目、賞賛で、それは、引き上げられるという意味です。あなたはもはや何かの下に生きていません。2 つ目、多産。その人の人生のあらゆる領域で神の祝福が実り豊かとなります。3 つ目、健康。4 つ目、繁栄、または成功。5 つ目、勝利。6 つ目、モーセは、あなたは尾でなく、かしらとなると言いました。そして7 つ目、あなたは上におり、下へは引き下ろされない、です。

数年前、私がそれについて学んでいたとき、私は主にかしらと尾の違いは何ですか、と聞きました。私は、主が単純な答えをくれたと感じました。かしらは、決断を下し、尾はただ引きずり回されるだけです。あなたはどちらの道歩んでいますか。あなたは決断を下していますか。あなたは状況を管理していますか。それとも、あなたが理解していない、あなたが制御できない状況と力によって、ただ尾のように引きずり回されているだけですか。もし、あなたが尾なら、あなたが呪いの下にある可能性は非常に高いです。

私はそれらの祝福のどれ一つとして、この原因によるものであると言っているわけではありませんが、あなたが見分けするためです。この分野にたった一人の専門家があり、その人の名は、デレク・プリンスではありません。聖霊です。聖霊は個人的にあなたに示さなければならないお方です。私は一般的な心理をメッセージすることはできますが、あなた

は聖霊から特定の適用法を得なければならないのです。

では、呪いについて見ていきますが、祝福とは正反対です。一つ目、屈辱、2つ目、不作、あるいは不妊です。基本的に、不妊は、ほとんどと言っていいほど、呪いと何らかのつながりがあると言えます。3つ目、あらゆる種類の病です。そして、申命記 28 章を読むと、そのリストに入っていない病はありません。4つ目、貧困と欠乏。5つ目、征服。6つ目、あなたは尾であってかしらではない。そして7つ目、あなたは下であって上ではない。おそらくあなたは、2種類のクリスチャンのことを聞いたことがあるでしょう。一人は、「やあ兄弟、元気？」と言います。そしてもう一人は「この状況下でも、悪くはないよ。」と答えます。すると、最初のクリスチャンは、「その状況下で君はどうしているんだい？」あなたは、状況の下ではなく、上にいるべきです。

何年もの間、このリストとは別に、おそらく私が呪いを取り扱ってきたと思われる小さなリストを作りました。おそらく、です。そして私は、申命記 28 章とは別のリストを作りましたが、それは実に驚くほど似通っています。私が作ったリストには、偶然 7 つの項目がありました。はっきりさせておきたいことですが、あなたがその一つに当てはまるなら、あなたが呪いの下にあることが絶対に確かであるとは言えません。あなたはその可能性を調べて、神を求める必要があります。しかしもし、複数に当てはまるなら、呪いの下にある可能性はさらに高くなるでしょう。

これが私の小リストです。1、精神的、感情的な崩壊。人々は取り乱しているときに、精神的にまいっているといます。それは、私が言っていることで、感情的か精神的に、あるいは両方の場合もあります。2、繰り返す、または慢性的な病気。特にそれが遺伝的なものであるなら、呪いは世代から世代へと引き継がれていくからです。また、医者が何も通常の原因を見つけられない場合。3、婦人疾患と呼ばれるもの。不妊、流産傾向、月経に関する問題。妻と私はその種において祈りを求めてきた場合、私たちは単純にそれが呪いであるという根拠に基づいた行動をするようなケースを数多く取り扱ってきました。事実、呪いから解放される方法を最初に教えることなく、病へのミニストリーをすることは、時間の無駄であると私たちは感じるがよくありました。

以前、私は婦人科の問題を持った人々に一列にならんでもらうと、その列の中に一人の男性がいました。彼の順番が来たとき、私は「あなたの問題は何ですか。どうしてあなたが婦人科の問題を抱えているのですか。」と聞きました。彼は、「私の問題は、うつです。それは婦人が特有のものだからです。」と答えたのです。私はそれを受け入れませんでした。

4、結婚の崩壊と家庭不和で、家族がバラバラな場合、離婚している場合、子どもが両親やほかの兄弟から引き離されている場合です。呪いが作用している可能性が非常に高いです。5、経済的な欠乏。これは注意深く言いたいと思います。短期間の貧困は、私たちへの神の試練であるかもしれないと思います。しかし、あなたが常に金欠状態で、一度も十分であったことがないなら、常に爪に火を点すような生活であるなら、呪いの下にある可能性が高いと私は思います。そして 6、事故の傾向です。言い換えれば、いつも事故に見舞われる人々の一人であるということです。保険会社はあなたを調べ、あなたが事故を起こしやすいと分類するなら、あなたにより高い保険料を課すでしょう。つまり、歩道の段差を踏み外して足首をいつも骨折する、またあなたの奥さんがいつも車のドアを乱暴に閉めるとき、あなたが指を挟むなどは自然ではありません。あるいは、あなたの目にいつも小さな虫が飛び込むとか。つまり、それが常に続いているようだったら、不自然だということです。

そして7つ目に、家族に自殺または変死の歴史があることです。それらが頻繁に家族の中にあるなら、です。

それを素早く復習しましょう。精神的、感情的崩壊、繰り返す、あるいは慢性的病、特に遺伝的な場合、婦人科疾患、離婚、家族疎遠、経済的欠乏、事故傾向、そして自殺や変死の歴史の家系。

さて、それがすべてをカバーするわけではありません。ですから、そのリストにない呪いの結果でありうる多くのものがあるので、おおまかなものをみなさんに分かち合おうと思います。そしてこれは、私が様々な人々を取り扱ってきた結果としてたどり着いたものです。のろいとは、過去から伸びる長い悪の手と言えるでしょう。そして、それがどれほどの過去のものであるかをあなたは知りません。その悪の手が伸ばされ、あなたがまさに成功しようとする度、あるいは、そうでありたいものに到達しようとする度に、その悪の手があなたをつまづかせ、あなたは立ち上がってやり直さなければなりません。あなたが成功しようすると、再びつまづきます。そしてそのことが実にあなたのライフストーリーになってしまうのです。どれほど多くの人が私にそのような話を語ってきたことでしょうか。そして彼らが、「同じことが私の父に、あるいは祖父に起こりました。つまり、それは私の家族に代々起こるようです。」と言うのを何度も聞いてきました。

もう一つの単純な概観は、あなたの人生の上にある過去からの暗い影で、神の祝福の日差しをさえぎっています。あなたは他の人々が日差しの中を歩いているのを見ることができ、それがそこにある現実のものだと知っていますが、どういうわけか、太陽はめったにあなたに降り注いでいるようには思えません。それらのようなことが当てはまるなら、あなたはこのメッセージを聞きながら、あなたの特定の必要や状況、また問題が何であるかを聖霊が示してくださるように神に求める必要があります。

箴言の作者は、箴言 26:2 で非常に重要なことを言っています。

「逃げる雀のように、飛び去るつばめのように、いわれの無いのろいはやって来ない。」

つまり、もしのろいがあるなら、常に原因があるということです。それを引き起こす何かがあります。私の経験では、人々を助ける時、その呪いを取り扱う前に原因を見つけることが役に立つことが多く、時には不可欠となります。今から、のろいの原因を聖書的に取り扱しましょう。それは、かなり長い主題で、次のセッションにも続きます。

では、祝福とのろいの主な原因を見るために、申命記 28 章を開きましょう。幸いにも、それらは非常にシンプルです。申命記 28 章の最初の 2 節でこう言っています。

「もし、あなたが、あなたの神、主の御声によく聞き従い、私が、きょう、あなたに命じる主のすべての命令を守り行うなら、あなたの神、主は、地のすべての国々の上にあなたを高くあげられよう。あなたがあなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたは祝福される。」

ヘブル語では、この箇所は、「聞く」という単語が繰り返されています。もしあなたが、あなたの神、主の声を聞いて、聞いて、その言われることをするなら、と聞くことを強調しています。ですから、すべての祝福の主な要因は単純に神の声を聞いて、それを行なうことです。

さて、すべての呪いの主な要因は正反対です。同じ章の 15 節です。

「もし、あなたが、あなたの神、主の御声に聞き従わず、私が、きょう、命じる主のすべての命令とおきてとを守り行わないなら、次のすべてののろいがあなたに臨み、あなたはのろわれる。」

では、のろいの原因は何ですか。神の声を聞かない、神が言われることを行わないことです。基本的にその 2 つの根本の原因があります。祝福の要因は、神の声を聞いてそれを行なう。のろいの原因は、神の声を聞かず、神の言われることを行わないです。もし私たちがこの今回のメッセージのあとで祈り、あなたが呪いから解放されるなら、祝福にとどまるために、あなたはこの条件を満たさなければなりません。神の声を聞いて、神の言われることを行なわなければなりません。もし、あなたが聞かず、行なわないところへ戻るなら、再びのろいのもとに来ることは避けられません。

また、聖書には、呪いの数々の源と特定の原因があります。私たちは、一般的なものを取り扱いましたので、今から特定のをいくつか取り扱っていきます。のろいの源の一つ目は、驚くかもしれませんが、神ご自身です。神ご自身が宣告している多くの呪いが聖書の中にあります。おそらく、不従順な人々や国々に対する神の裁きの最も一般的なかたちの一つが、彼らにのろいを宣告することでした。そして、その呪いが起こるとき、それは神のさばきの働きです。理解できますか。神は祝福し、またのろうのです。

ですから、私たちはまず、神ご自身から来る呪いを取り扱います。そして、一つの最大の原因が出エジプト記 20:3-5 に書かれています。これは、十戒の最初の部分です。それを読む前に、人々の人生の中で、最大で最もよく起こるのろいの原因が最初の 2 つの戒めを破っていると言わせてください。事実、のろいの下に来ることなくして、あなたはそれらの戒めを破ることはできないと、私はますます考えるようになりました。では読みましょう。

「あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。」

しかし、ヘブル語の意味は、「私が主である。私のほかに神々はない。」です。ですから、あなたは、真の神以外にほかの神々を認めてはいけないということです。

そして、2 つ目の戒めは、偶像礼拝と呼ぶものです。

「あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし…」

それは、のろいの特徴で、少なくとも三世代、あるいは四世代に続くことがあります。何世紀もの間、偶像礼拝をしてきた地上の数十億人のすべての祖先について考えてみてください。そこに積み上げられた呪いについて考えてみてください。東南アジアを旅行してみてください。その人口の 95% が呪いの下にあるので、もしあなたが呪いを取り扱わなければ、東南アジアで奉仕する価値はほとんどないと、私は思います。彼らがよくない人々だと言っているのはありません。私は、彼らは素晴らしい人々だと思います。しかし、その過去には何かがあったのです。

一人の真の神のほか、ほかの神を持つということは、オカルトの行ないのあらゆる形式を含むものであるということ
を理解しなければなりません。私は今日、オカルトのあらゆる可能性について触れる時間はありません。なぜなら数
え切れないほど多いからです。しかし、自由であることを真の神に求めるために、真の神よりもほかの源に行くなら、た
とえどんな源に行ったとしても、実は自分の神を作っていることになるのです。もし、神がその道を通して受け取っ
てはならないと言われる、占い師のところへあなたが将来について知りたいと思って行くなら、その占い師を通して、占
い師の背後の力をあなたの神としていることになります。あなたは占い板(日本で言うところのこっくりさんのようなもの)をし
ているのです。もしあなたが、何らかのオカルトの経験にかかわるなら、聖書の真理を否定することになります。それ
らのものは御名、真の神ではない神を作っていることになるのです。ですから、最初の 2 つの戒めを破ることは、オカ
ルトのあらゆる形式を擁護することになるのです。

さて、主は四世代までも言われます。ちょっと計算して、四世代までさかのぼってください。私たち一人ひとりに 30
人の先祖がいます。その 30 人の先祖のうち一人もオカルトに関わったことがないと言い切れる人はどれぐらいいるで
しょうか。もしかすると、言い切れる人もわずかにいるかもしれませんが、私は言い切れません。

シンプルな例を挙げましょう。何年も前に、私は当時よく行われていた典型的な家庭集会に出ていました。私は、
20 歳ぐらいの若者の横に座っていました。私は彼に、聖霊がこう語っているように感じると言いました。「あなたは聖
霊を受けたことがありますか。」彼は、「はい、でも・・・」と言いました。人がその質問に、はい、でも・・・と答えるときは、
こういう意味です。「でも、私は異言を話しません。」そして、私には、彼が実は異言を話したそうに見えました。私は
彼に強制をしたわけではありません。私は彼と議論をしませんでしたが、主は私を促したので、私は、「あなたは占い
師のところへ行ったことがありますか。」と聞きました。彼は考えて、「はい、15 歳の時に一度だけ。でも、冗談のつもり
で、それによってどうこう言うわけではありませんでした。」と言いました。私が、「行ったんですね。」と言うと、彼は、
はいと言いました。私は、「あなたは、神がそれを禁じていることは知っていますね。」と言いました。彼はそれを認め
るのを少しためらいましたが、知っていると言いました。私は、「あなたがそれを罪として告白し、その影響から解放さ
れる祈りを導いてもいいですか。」と言うと、彼は、はいと答えました。彼は私に悩ませられたくないので、ただそう願っ
て、いいですよと言ったと私は思います。ですから、私は非常にシンプルな祈りを導きました。「主よ、私は占いなど
に行ったことを罪として告白します。」私は他のことばを何も言わず、私の手を彼の方において彼のために祈りました。
彼は即座に異言でべらべらと話し始めたのです。異言の自由から彼を遠ざけていた見えない障壁があったのです。
それは何だったのでしょうか。オカルトです。それはシンプルな一例にすぎません。

申命記 27:15-26 に 12 の呪いが言われており、イスラエルの民が約束の地に入って行ったとき、それらののろい
を自分たちで言わなければなりません。もし、彼らとその律法に従わなかったら、彼らは自動的にそれらののろ
いの下に来ることになっていました。彼らはそれをせず約束の地に入ることはできませんでした。私たちが神との関
係に入るときも、ほぼ同様であると思います。もし私たちが従順であるなら、祝福の下に来、もし不従順であるなら、
私たちがのろいのもとに来る実に危険なところにあるのです。

申命記 27:15 以下で言われている呪いについての短い要約をお話ししましょう。一つ目、再び、偶像礼拝、偽りの
神々です。それは常に、リストの最初に来ます。二つ目、父母を侮辱すること。これは、新約聖書のエペソ 6 章でも

繰り返されています。

『あなたの父と母を敬え。』これは第一の戒めであり、約束を伴ったものです。すなわち、『そうしたら、あなたはしあわせになり、地上で長生きする。』という約束です。」

私個人的な確信ですが、自分の両親を敬わない人は、決して幸せになることはないと思います。私は多くの人々の例について思いめぐらすことができます。それは、あなたが救われたい、異言を語れない、死んでも天国に行けないという意味ではありません。しかし、あなたの両親との関係が整えられるまでは、あなたの人生の本質に何らかの欠けているものがあるでしょう。それは、あなたの両親に同意しなければならないとか、すべて彼らが言うとおりにするという意味ではなく、あなたは両親を敬わなければならないのです。

私を取り扱ったもう一人の若者についてです。彼と父親との関係は非常に悪いものでした。彼の父親が死に、私たちのいた場所から 1600km 以上離れた墓地に埋葬されました。この真理が彼を突き刺したとき、彼はその遠い道のりを旅して、父親が眠る墓地に行き、ひざまずいて父に対する自分の間違った態度を告白し、心臓が張り裂けんばかりに泣き、別人となって立ち上がりました。その時から、彼の人生の歩みは変えられました。特に今日、様々な両親がおり、彼らに反抗する様々な理由があることを知っており、私はそれを理解しています。私は非行少年、非行少女は一人もいない、ただ怠慢な親がいるのだと思います。そうであっても、あなたがそれをよくしたいと願うなら、あなたは神が言われることを行なうのが賢明です。あなたはそうしなくてもいい立場にはいません。

次に、このリストでは隣人に対する裏切りです。箴言で、「善に代えて悪を返すなら、その家から悪が離れない。」と語っています。

そして、弱者あるいは無力な者に対する不正です。個人的に、私は母のお腹にいる胎児以上に弱く、無力な者はないと思います。故意に妊娠中絶をした人はだれも、のろいのもとに来るとというのが私の個人的な確信です。私はその呪いを取り扱わずに、そのような人に奉仕したことはありません。私はその人が永遠に呪われると言っているのではないことを理解してください。その解決を示したいので、その問題について話しているのです。

それから、不適切な性的関係、特に近親相姦です。私は、これについても、特定の数字を知っているわけではありませんが、アメリカでは、10 歳以下の女の子の 4 人に 1 人、男の子では 5 人に 1 人が性的乱暴にあったことがあると言われています。私は、呪いなしでそのようなことが起こるとは考えられません。

私たちは、このリストから創世記 12 章のアブラハムの召命に続けましょう。そこには重要なものがあるので、見る必要があります。神はアブラハムを呼び出し、様々なことを約束し、3 節でアブラハムにこう語っています。

「あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。」

祝福と呪いの両方があります。神が祝福するために一人の人を選び出すときにはそれは不可欠だと思います。その人はあらゆるサタン力の対象となるからです。ですから、神は守りを具体化しました。神はアブラハムに言いまし

た。「あなたをのろう者を私はのろう。」

創世記 27:29 でその守りがイサクにより、父の祝福においてヤコブまで拡大されました。

「おまえをのろう者はのろわれ・・・」

そのアブラハム、イサク、ヤコブの家系は、何という民族(国)になりましたか。そう、イスラエルです。そしてユダヤ民族を呪ったり、反対したり、虐待することを一般的になんと言うでしょうか。反ユダヤ主義です。私の個人的な意見では、反ユダヤ主義は例外なく、個人的、また国(民族)に対する呪いがつきまといます。そして、過去 19 世紀の歴史を見ると、ユダヤ民族を呪ったゆえに、次から次へと国々が呪いの下に来たことがわかります。妻と私には、数年前にイエスと劇的な出会いをしたイスラエルのハイファ出身のアメリカ国籍のパレスチナ系アラブ人の友人がいます。私は彼を聖霊のバプテスマに導きました。彼は当時、億万長者でした。実は、彼は救われたあと、破産したのです。彼は、「神さま、あなたは私に何を言おうとしているのですか。」という思慮を持っていました。神は言われました。「私はあなたの高慢を取り扱っている。」しかし、神はまた、彼とそのすべての先祖がいつもユダヤ人を呪っていたということを示されました。信じてください。私はパレスチナでアラブ人の間に住んでいました。アラブ人がユダヤ人をのろうことは普通のこと、わずかな例外を除いて、基本的に彼らはみなそうするのです。神は、その態度を変えるなら、彼の祝福を回復することを示されました。彼は悔い改め、ユダヤ民族への愛を与えてくださるよう神に求めました。彼は大部分のユダヤ人以上に親イスラエル派のパレスチナ系アラブ人です。そして、彼は現在、以前よりも億万長者となりました。お分かりですか。あなたの人生に作用する呪いを見つけ出すことは、何と重要なことでしょうか。

それから、別の非常に重要な呪いが預言者エレミヤによって言われています。それは短い言葉なので、私たちはその重要性を認識することなく、見逃すことが多いです。エレミヤ 17:5-6 です。

「主はこう仰せられる。『人間に信頼し、肉を自分の腕とし、心が主から離れる者はのろわれよ。そのような者は荒地のむろの木のように、しあわせが訪れても会うことはなく、荒野の溶岩地帯、住む者のない塩地に住む。』」

これは、呪いの下にあるものを非常によく描写していることに気が付いてください。祝福はあらゆるところにありますが、その人は塩地に住んでいます。雨はすべての場所に降りますが、その人の上には降りません。その呪いの原因は何ですか。人間を信頼し、肉を自分の腕とすることです。しかし、みことばは、心が主から離れる者と言っています。言い換えれば、超自然的な神の恵みと祝福を知っている人が、その後、自分の努力により頼むことに戻ってしまうことです。それは呪いをもたらします。

あなた自身で判断して下さるよう、願います。しかしそれは、今日のキリスト教会の大部分の状況であると言えるでしょう。今日知られる教会のほとんどすべてのムーブメントが、名前は出ませんが、偉大な神の超自然的な訪れと聖霊の働きから始まりました。そうでなければ、彼らは歴史に残ることはなかったでしょう。しかし、今日それらのほとんどが、超自然的な恵みと神の力に背を向け、自分たちの努力と強みと能力により頼み始めました。それにより、彼らはのろいのもとにいます。それは、祝福の中にいるべきであるのに、エレミヤ 17:5 に従わないために、私たちがのろいの下に来たということは、キリスト教会の一つの大きな問題であると思います。

さて、ゼカリヤ 5:1-4 で、ゼカリヤは飛んでいる巻き物の幻を見、その巻き物の両側には呪いがありました。盗む者への呪いと、偽って誓う者への呪いです。その幻で、この巻き物は、人の家に入り、そこを宿とし、そして家全体が立ち滅ぼされます。それが、のろいの性質です。それは特定の領域にだけ影響を与えるのではなく、その周りのものすべてをむしばむような影響を与えます。私たちはそのことをよく考える必要があります。次にあなたが確定申告など税金の還付申告をするときに、不誠実であるなら、あなた自身を呪いにさらすということを心に留めておいてください。なぜなら、あなたは、これはたしかに還付される云々と言わなければならないからです。

アメリカでは、少なくとも小売商品価格の 10%が万引きに対する保険に当てられています。人々がもし万引きをしなかったら状況がどれほど違ってくるか考えてみてください。基本的に、それはインフレに対する答えとなります。呪いがどれほど現実的であるかを理解できますか。それは国全体に影響を及ぼします。

そして、マラキ 3 章を見ておかなければならないと思います。マラキ 3:8-10

「人は神のものを盗むことができようか。ところが、あなたがたはわたしのものを盗んでいる。しかも、あなたがたは言う、『どのようにして、私たちはあなたのものを盗んだでしょうか。』それは、十分の一と奉納物によってである。あなたがたはのろいを受けている。あなたがたは、わたしのものを盗んでいる。この民全体が盗んでいる。十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。——万軍の主は仰せられる——わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。」

私は、すべてのクリスチャンが什一献金を払うべきだと教えているのではありません。なぜなら、新約聖書は律法ではなく、恵みであると理解しているからです。しかし、その恵みは律法以上にさらに私たちに寛大にさせるものであると思います。私たちは、より素晴らしい契約が、より素晴らしい約束の上に確立されると教えられています。それに基づいて、私たちがイスラエル人より少なくささげることができると思いますか。しかし、一つのことを言わせてください。神に対する出し惜しみは、呪いをもたらします。神への出し惜しみは非常に哀れな経済です。献金の時に私はすべてのクリスチャンに言いますが、神はあなたのチップを必要とはしません。放蕩です。よく考えてみてください。神に 50 円や 100 円のチップをするようなことはしないでください。あなたはささげる必要はありませんが、あなたは神にささげているのです。事実、さっきも言ったように、神にはあなたからのチップは必要ありません。与えるということにおいて、教会でそのような不敬があるのです。ささげることは礼拝の一部であることを理解して、礼拝としてささげるのです。私は生粋のイギリス人と言わなければなりません。私の国であるイギリスについて、イギリスはのろいのもとに来たと思います。なぜなら、イギリス人クリスチャンは基本的にケチだからです。今それが変えられていることを神に感謝します。イギリスに新しい時代が来ていると思います。私はそれを経験しました。私はイギリスで 9 年間牧師をしました。そのイギリスの教会のモットーは、「あなたは神をへりくだらせ続け、私たちは神を貧しくし続ける。」でした。彼らは確かに契約を履行しています。

そして、ガラテヤ 1 章でもう一つ、教会に影響を及ぼす非常に重要なことが書かれています。パウロは、イエスによって超自然的に福音が彼に啓示されたことについて言っています。ガラテヤ 1:8-9 です。

「しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし私たちが宣べ伝えた福音に反することをあなたがたに

「宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、あなたがたの受けた福音に反することを、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです。」

ここで使われている呪いという語は、神とは全く関係のない、神に完全に対立するものという意味です。それは完全に神から締め出されています。のろいの原因は何ですか。福音の真理ではないことを、福音という名のもとに述べ伝えることです。エレミヤ 17:5 とガラテヤ 1:8-9 を一緒にして、現代の教会に当てはめてみると、残されている祝福があることは素晴らしいと思います。そして、マラキ 3 章を付け加えると、神に出し惜しみをする人が呪われます。

みなさん、私たちが何をしなければならないかを知っていますか。悔い改めです。私たちの方法を変え、神をもっと真剣にとらえる必要があります。信仰の定義は様々ありますが、非常にシンプルな一つを提案しましょう。信仰は神を真剣にとらえることです。聖書を真剣に受け止めてください。

もうそろそろ時間です。今まで見てきた主なのろいの原因を簡単にまとめましょう。第一に、偽りの神々、すなわち偶像礼拝とオカルトです。それは何よりもリストの最初に来ます。それから、両親を敬わないこと、隣人に対する裏切り、弱者や無力な者への不正、不適切な性的関係、近親相姦、反ユダヤ主義、神の恵みよりも肉に信頼すること、盗み、偽りの誓い、神への出し惜しみ、そして福音だと言いながら真理をゆがめたメッセージをする、福音の曲解です。

私は、第二次世界大戦のとき、イギリス軍に 5 年半いました。私は従軍牧師の説教で非常に多くのみことばを聞きました。軍隊に入ったとき、私は主を知らず、福音も知りませんでした。私は軍の中で主に会いました。私は従軍牧師のメッセージは何一つ覚えていません。ですから、これは私たちが直面する大きな問題です。

このセッションを終わりますが、次のセッションで続きをやります。ほかののろいの原因を取り扱います。それから、呪いからどのように解放されるかという非常に重要な部分に入っていきます。ですから、みなさんどうか祈りの態度で居続けてください。近所の人と話してはいけないということではなく、神が今あなたに油注いだものを消し去らないでください。なぜなら、神はあなたに多くのものを持っておられるからです。それには無関係だと自分をあざむかないでください。あなたが呪いから解放され、祝福を受けるための資格あるものとしての態度を保ってください。